

## 「瑞浪市障害者計画等策定に係る調査」 ご協力をお願い

日頃から、市政の推進につきまして、深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、瑞浪市では、平成 30 年 4 月からの瑞浪市第 4 次障害者計画・第 5 期障害福祉計画の策定作業を進めております。この計画は、障がいのある方が安心して暮らせるまちづくりの施策の指針となるものです。

この調査は、次期計画を策定するにあたり、当事者団体・ボランティア団体の皆様のご多様なご意見や障がい福祉への考え方などをお聞かせいただくために実施することといたしました。

取りまとめた結果については、団体名を特定しない形で計画に記載する場合がありますのであらかじめご了承ください。

平成 29 年●月

瑞浪市

### 【ご回答についてのお願い】

- ・平成 29 年●月 1 日現在の状況でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。回答が「その他」の場合は、( ) 内に具体的にご記入ください。
- ・ご記入いただきました調査票は、●月●日(●)までに市役所社会福祉課まで同封の返信用封筒にて返送していただきますようお願いいたします。
- ・記入スペースに書ききれない場合は、別紙を追加しても頂いても結構です。

※ 記入に際してご不明な点、調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

瑞浪市役所 民生部 社会福祉課 障がい福祉係  
電話 <0572>68-2113  
ファクシミリ <0572>68-0294

|        |                  |
|--------|------------------|
| 貴団体の名称 | 記入者氏名 ( ) 電話 ( ) |
|--------|------------------|

問1 貴団体はどんな活動をしていますか。

問2 貴団体の構成員数を教えてください。

( ) 人

問3 貴団体が活動上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

|                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 時間的な負担が大きい        | 2. 体力的な負担が大きい            |
| 3. 新規メンバーの加入が少ない     | 4. メンバーに世代などの偏りがある       |
| 5. メンバーが仕事・家事などで忙しい  | 6. 役員のなり手がいない            |
| 7. 活動メンバーの専門性が不足している | 8. 活動に必要な情報が集まらない        |
| 9. 情報発信する場や機会が乏しい    | 10. 障害者のニーズに合った活動ができていない |
| 11. 他の団体と交流する機会が乏しい  | 12. 会議や活動の場所の確保が難しい      |
| 13. 財源の確保が難しい        | 14. 活動がマンネリ化している         |
| 15. 行政との連携が取りにくい     | 16. 社会福祉協議会との連携が取りにくい    |
| 17. 自治会との連携が取りにくい    | 18. その他 ( )              |
| 19. 特にない             |                          |

問4 ふだんの活動を通じて感じておられる地域の課題にはどのようなことがありますか。  
(主なもの3つまで)

|                             |                        |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 障がい児・者への理解が足りない          | 2. 障がい者と健常者が交流する場が少ない  |
| 3. 近くに福祉サービスを受けられる場所がない     | 4. 障がい者が働くことができる場所が少ない |
| 5. 教育の機会が等しく与えられていない        |                        |
| 6. 交通機関や建物が障がい者の利用に配慮されていない |                        |
| 7. 障がい者の災害時に対する対策がとれていない    |                        |
| 8. 障がい福祉の情報が行き渡っていない        |                        |
| 9. その他 ( )                  |                        |

問5 貴団体が障がいのある人本人や家族から受ける相談はどのようなものがありますか。  
(主なもの3つまで)

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 健康・治療のこと  | 2. 経済や生活費のこと        |
| 3. 介助・介護のこと  | 4. 家事・炊事・掃除・洗濯のこと   |
| 5. 住まいのこと    | 6. 外出・移動のこと         |
| 7. 就学・進学のこと  | 8. 仕事や就職のこと         |
| 9. 防犯・災害時のこと | 10. 話し相手がないこと       |
| 11. 家族のこと    | 12. 異性・恋愛・結婚のこと     |
| 13. 人間関係のこと  | 14. 行政手続き・福祉サービスのこと |
| 15. その他 ( )  | 16. 相談を受けることはほとんどない |

問6 障がいのある人への市民の理解を深めるためには、何が重要だと考えますか。  
(主なもの3つまで)

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 学校での福祉人権教育を充実する  |                 |
| 2. インクルーシブ教育（一人一人に応じた指導や支援に加え、障害のある者と障害のない者が可能な限り共に学ぶこと）を拡充する |                 |
| 3. 障がいのある人もない人も共に参加するイベントを開催する                                |                 |
| 4. 障がいに関する講演会や学習会などを開催する                                      |                 |
| 5. 企業が積極的に福祉活動に携わる  |                 |
| 6. マスコミを通じて障がいのある人の生活をもっとよく知ってもらう                             |                 |
| 7. 市の広報紙等で障がいや障がいのある人への理解を呼びかける                               |                 |
| 8. 障がいのある人が積極的に社会に進出する  | 9. わからない        |
| 10. その他 ( )   | 11. 理解を深める必要はない |

問7 障がいのある人が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。  
(主なもの3つまで)

- |   |           |
|---|-----------|
| 1. 自宅近くに働く場があること                            |           |
| 2. 健康状態にあわせた働き方ができること                       |           |
| 3. 障がいのある人に適した仕事が提供されること                    |           |
| 4. 就労の場をあっせんしたり、相談できる場が整っていること              |           |
| 5. 職業訓練など、技能・知識の習得を援助する施設が充実していること          |           |
| 6. 事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること         |           |
| 7. 民間企業が積極的に雇用できるよう助成制度などが充実していること          |           |
| 8. 職場の施設や設備が障がいのある人にも利用できるように配慮されていること      |           |
| 9. 職場へ通う手段（公共交通機関・送迎バス）や通勤費補助があること          |           |
| 10. 介助者と一緒に働けること                            |           |
| 11. 同じような障がいのある仲間と一緒に働けること                  |           |
| 12. ジョブコーチ（職場適応援助者）など職場に慣れるまで援助してくれる制度があること |           |
| 13. その他 ( )                                 | 14. わからない |

問8 これからの瑞浪市の障がい福祉では何が必要だと思いますか。必要だと思う内容に○をつけてください。(主なもの3つまで)

1. 一人ひとりの障がいに合った支援を受けられるようにする
2. 障がいのある人に対するまわりの人の理解を深める
3. ホームヘルプサービスなどの在宅サービスを充実する
4. 障がい者が地域で生活するために必要な体制を整える
5. 通所による生活介護などのサービスを充実する
6. 働く所を増やす
7. リハビリ訓練の場所を増やす
8. 障がいに適した設備を持った公営住宅を建設する
9. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図る
10. ガイドヘルパーの養成や福祉タクシー、リフト付タクシーなどの移動手段への支援対策を充実する
11. 障がいのある友達と一緒に暮らすグループホームなどを増やす
12. 入所施設を増やす
13. いつでも何でも相談できる窓口を用意する
14. 同じ悩みなどを持つ方が話し合ったり、交流する場を確保する
15. 障がい者と健常者が交流する場を増やす
16. 年金などの経済的な援助を増やす
17. バスや電車、公共料金、入場料などの割引制度を増やす
18. スポーツ・レクリエーション・文化活動に対する援助をする
19. 親の用意した財産などを管理・運用し、本人に必要な世話をしてくれる組織を設置する
20. 点字、手話などによる情報提供を充実する
21. 各種サービスや制度、医療機関などの情報提供を充実する
22. 災害時の避難情報や避難所における配慮を充実する
23. 消費者トラブルの防止や被害からの救済支援をする
24. その他 ( )
25. 特にない

◎ 最後に、障がい福祉や支え合いのしくみづくりについて、瑞浪市で不足したり重点をおくべき内容をそれぞれのテーマについてご意見がございましたらご記入ください。  
特に、地域移行（自ら選んだ住まいで安心して、自分らしい暮らしを実現すること）や地域生活に向けた環境が整備されることを目標としたご意見についてご記入ください。

①保健・医療について

---

---

---

---

---

---

---

---

②生活環境・住まいについて

---

---

---

---

---

---

---

---

③相談・情報提供について

---

---

---

---

---

---

---

---

④雇用・就労について

---

---

---

---

---

---

---

---

⑤教育・保育について

---

---

---

---

---

---

---

⑥障がいへの理解と交流について

---

---

---

---

---

---

---

⑦防犯・防災（災害時の対応）について

---

---

---

---

---

---

---

⑧その他

---

---

---

---

---

---

---

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。